



平成28年度 清和地区 地域ケア会議 報告書

平成29年1月20日（金） 清和公民館にて、

「ちょっとした手助け」「活動力の低下」について意見交換を行いました。

内容

平成28年11月に実施した、1回目の地域ケア会議では、清和地区の地域課題として「ちょっとした手助け」「活動力低下」「移動手段」「買い物不便」「外出する場の不足」「という意見があがり、2回目で検討するテーマを「ちょっとした手助け」と「活動力の低下」の2つに絞りました。

2回目に行われた地域ケア会議では、参加していただいた各団体で、できる事はないか、特に「自助・互助」の力を活かしてできる事を検討していただき、その結果を発表しました。

その後、清和地区としてこういった取組みを行っていくかの意見交換を行いました。

ご意見

・ちょっとした手助け、活動力の低下について

- 清和地区の大きな問題は移動手段がないこと。
あるのに周知されていないものは資源マップを作成、利用しやすくする。
移動サービスが必要なものは移送ボランティアを募る、タクシーの乗合利用、スクールバスの乗合利用、若い人に力になってもらうなど検討する。
- 総合事業の多様なサービスについて、方向性を示してほしい。訪問型サービスD（移動支援）について具体的に考える必要がある。
- 生活支援コーディネーターを地域助け合い型の移動サービスのコーディネーター役として活用出来ないか。
- デイサービスの車両を空き時間に活用することは出来ないか。
- 地域ケア会議に地域の社会福祉法人が参加し、できる事を検討してはどうか。
- 社協のあんしん事業は清和地区での協力会員は4名。もっと増やせないか。
- 「清和お助け隊」のようなものを立ち上げてはどうか。
- 地域の高齢者のニーズを把握することも大事ではないか。
- 隣近所が高齢者の緊急時、連絡する家族等を知っているほうが良いのではないか。

ご意見

- ・地区社協では、安心安全キットを利用して、緊急対応に使用できている。
- ・独居高齢者の家族は、朝夕に安否確認のために電話をするなどすべきではないか。
- ・若い人は日中働きに出ており自宅と職場の往復で近隣との横のつながりが弱く、日中独居の世帯も多い。隣近所、自治会、組長等協力して隣近所の横のつながりを深めていく必要がある。また、水道、ガス、電気、新聞、等定期的に訪問する業者にも声かけし、安否確認のための担い手とならないか検討してはどうか。
- ・独居高齢者の安否確認の手段として、元気に起きたら黄色い旗を掲げることを実施している市町村もあり検討してはどうか。
- ・他市町村で、往診と訪問看護がご自宅の鍵を預かり、深夜でもその鍵を開けて訪問して、夜間の家族の負担を減らしているという話がある。参考にしても良いのではないか。
- ・清和住民の90%近くは農協の会員である。農協では「地域運営組織」として活動しているため、地域ケア会議に農協にも声をかけて参加してもらうことで活用していけないか。
- ・地区社協には地域の組織がほぼ入っている。それぞれに持っている役割もあるため、役割を明確化し、誰が何をやるか、どう共助していくかを話し合うと良い。
- ・アドバイザーなど、専門家からの意見を交えて問題解決策を検討してはどうか。
- ・市として地域ケア会議をどういう方向性で考えているのか、その目的や、いつまでにどういうことを決めていくなどスケジュール的なものを示し、参加者が共有して会議を進める必要があるのではないか。
- ・清和地区は道路の整備も課題。病院に早く行けるように特に三島地区の道路整備を進めてもらいたい。
- ・コープの移動販売車の回数を増やし買い物弱者を支援して欲しい。

まとめ

○清和地区では様々な団体が取り組みを行っている中で、団体の垣根を越えて地域ケア会議で各団体がつながりを持つことで情報を共有できると考えられる。今後は、社会資源の整理や、調査等を行い、資源マップを作成する事や、地域のつながりを強くするための取組について検討を行う。

ご意見を参考にさせていただき、平成29年度の地域ケア会議を実施していきたいと思っております。



君津市東部地域包括支援センター

TEL 0439-27-0710

君津市広岡 375 特別養護老人ホーム
上総園敷地内

君津市地域包括支援室

TEL 0439-56-1732

君津市久保 2-13-1

君津市役所 高齢者支援課